



49年ぶり！ みこしが空港を巡行

ほしまつり
お法使祭 小谷地区から杉堂地区へ

10月30日、「津森神宮お法使祭」が開催されました。お法使祭は、常設の神殿を持たないご神体を益城町、西原村、菊陽町内の計12地区が「御仮屋」に1年ずつ祭り、次の地区に引き渡す神事です。ご神体を乗せたみこしを手荒く扱うことは全国的にも珍しく、県重要無形民俗文化財に指定されています。

小谷地区から杉堂地区への引き渡しとなる今回、開港翌年の昭和47年以来、約半世紀ぶりに空港を巡行。小谷地区の担ぎ手と空港職員が一緒にみこしを担ぎ、建設が進む新ターミナルビル付近を練り歩きました。

神幸行列では、小谷地区の担ぎ手たちがみこしを何度も投げ転がした後、杉堂地区に引き渡され、見物客は歓声をあげながら12年に1度の祭りを楽しんでいました。



1 空港でみこしを担ぐ小谷地区の担ぎ手と空港職員

2 約300キロのみこしを頭上まで持ち上げる

3 4 引き渡し前に勢いよくみこしを投げ、転がす

5 引き渡されたみこしを御仮屋へ運ぶ杉堂地区の担ぎ手

経験したすべての人が「語り人」

語り部の会 熊本地震を語り継ぐ

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除に伴い、10月下旬から11月にかけて全国から多数の修学旅行生が町を訪れ、益城町語り部の会がガイドを行いました。

益城町語り部の会は、天然記念物に指定された布田川断層帯(谷川・堂園・杉堂地区)と地震当時の体験を、町を訪れる修学旅行生や一般の人に語り継いでいます。語り部として防災・減災につなげる活動を始めませんか？

☎ NPO法人益城だいすきプロジェクト・きままに

☎ 090-3072-7324



名古屋市から訪れた中学生に語り継ぐ(10月29日：堂園地区)

Best Smile
今月のベスト笑顔

